

令和8年度 内子高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学A	単位数	2単位	学年	1学年
教科書	改訂版 新編 数学A (数研出版)		副教材等	標準 Study-Up ノート 数学A (数研出版)			

1 学習の目標

図形の性質、場合の数と確率について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	- ベン図を用いて、有限集合の和集合の要素の個数について学びます。 - 和の法則、積の法則、樹形図や表を利用して場合の数について学びます。 - いろいろな順列、組合せを学びます。 - 確率の基本的な概念を学びます。 - 独立試行の確率を学びます。 - 条件つき確率と確率の乗法定理を学びます。 - 期待値を学びます。	期末テスト
第2学期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	- 三角形の辺と角の性質を学びます。 - 三角形の外心、内心、重心を学び、それらと、外接円、内接円の関連を学びます。 - 様々な定理を学びます。 - 図形の性質を利用して、平行線や線分の内分点・外分点の作図を学びます。 - 空間における直線と平面の位置関係を学びます。 - 多面体の頂点、辺、面の数について、基本的な性質を学びます。	期末テスト
第3学期	第3章 数学と人間の活動	様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて学びます。	期末テスト

3 評価の規準

【知識・技能】

図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

4 評価方法

学期ごとに、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期テスト、単元テスト、小テスト、振り返りシート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実にいきましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答を見て解け

るようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。